

THE FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

居留地会議

旧居留地連絡協議会・会報No8・1991年10月15日

旧居留地のシンボルマーク、決まる。

旧居留地連絡協議会では、6月1日(土)の第二回旧居留地シンポジウムで当地区のシンボルマークを発表しました。発表は、まちづくり推進委員会委員長、田畑外次氏より行われ、審査委員長の斉木崇人氏(神戸芸術工科大学助教授)から審査経過報告、つづいて最優秀作品の表彰が行われました。

作品は小学生から88才の方まで幅広くの方からご応募いただき、総数343人、609点。応募者のうち36%が、プロのデザイナーでした。

作品選考は、斉木氏を委員長に、広戸敏夫(神戸市都市計画局長)、増田正和(浪速短期大学教授)、山本一了(モダンアート協会会員アドバイザー委員)、田畑外次の

各氏により評価推薦方式で行われ、第一次選考では幅広く選定し40点選出。第二次選考ではテーマ設定および、オリジナリティで14点選出。第三次選考で具体的活用の可能性から7点選出。さらに第四次選考で3点を選出。4点の佳作決定。目的、活用イメージ、テーマ性を再度考慮し討議の上、最優秀作品を委員一致で選出しました。



まちづくり推進委員長より表彰を受ける小坂操さん。



並木越しに見える石造りの洋風建築物と石畳をシンボル化しています。屋根部のグリーンとブルーは“六甲山”と“港”を、濃い青のアーチは街の重厚な歴史を、赤の石畳は街のやさしさ、にぎわいを表しています。……デザイナー 小坂 操

最優秀作品について斉木審査委員長は、「デザインの質が高い。居留地の将来イメージがいきいきと表現されている。石づくりのイメージから旧居留地の伝統が。また街の優しさ・にぎわいを石畳で、活力あるイメージを木で。さらに六甲山の緑・瀬戸内の海のイメージも表現されている。このデザインは旧居留地の新しい伝統を表わしています。」と語られました。

この作品をデザインされたのは、岡山県の女性デザイナー、小坂操さん。数多い応募作品の中からみごと最優秀賞を獲得されました。

なお優秀賞は東京都・丸塚久和、神戸市・総毛宣博の両氏、佳作は京都市・出井豊二、大阪市・松井

美貴子、愛知県・山本朋子、アメリカ ニュージャージー州・アンソニー・カーンの各氏が獲得。

なお、このマークは、これから発行される会報など印刷物をはじめフラッグ、地番標識など、旧居留地連絡協議会のさまざまな活動を通じて使っていく予定です。

編集スタッフ募集

新しいシンボルマークとともに、楽しさのある会報にしていきたいと思います。会員各社に勤務されている方、ぜひご協力を！

TEL(391)2238

大神倉庫株橋本まで

「旧居留地の役割を探る」をテーマに、 第二回 旧居留地シンポジウム開催。

アーバンリゾート都市・神戸の推進に向けて、第二回旧居留地シンポジウムは「旧居留地の役割を探る」をテーマに、6月1日(土)、2時から神戸オリエンタルホテルで開催いたしました。シンボルマークの発表と表彰式、「アーバンリゾートフェア神戸'93」についての説明、つづいて神戸の各地区でのまちづくりの紹介。最後にパネルディスカッション「神戸における旧居留地への期待を探る」。参加者は約300人。総合司会は、旧居留地連絡協議会企画委員長、真下典夫氏。

行政と市民がつくる 「アーバンリゾート」

神戸アーバンリゾートフェア事務局長下村繁弘氏は、行政は効率一本槍ではないものが求められていることを強調。“アーバンリゾート都市”としては高企画、高品質を求め、○歴史と未来の融合。○海と山の調和。○国際性。○ひとりひとりの優しさ、温かさ。○便利。○新たな出会い。以上をイメージに、行政だけでなくみなさんと一緒にやっていきたいと、強く市民参加を呼びかけられました。

着々とすすむ神戸 各地区のまちづくり。

神戸の4地区のまちづくりに携わっている代表者から、それぞれの地区のまちづくりについて語っていただきました。

■北野、山本地区を守り育てる会 会長 浅木隆子氏

「もともとは住宅地だが観光公害に悩まされた。昭和61年にまちづくり検討会をつくり、そのようなマイナス面を減らし、緑を増やす運動を始めた。

資金が大切。まちづくり基金を設ける予定。いま以上に国際的、活動的な街にしていきたい。安易な商業地化、観光地化を避けたい。



パネルディスカッションの模様。写真右は旧居留地のシンボルマーク。

それは街の魅力をなくすことになる。ベーシックな住宅地あってこそこの街。自分たちの街は自分たちで守り育てる。」

■新開地周辺地区まちづくり協議会 会長 鷺田信郎氏

「もともと映画と寄席、庶民の街だった。昭和59年にビジョンを作成し官民一体の開発を始めた。CIは『ひかり流れる新開地』。アーケード撤廃、川の流れる時の流れる光の流れる街として昨年8月完成。こうして商店街の蘇生を図った。さらに“新開地アートビレッジ構想”企画チームを発足させて、映画、音楽、演劇でいっぱいこの街にしようと計画している。下町の魅力を活かし芸術家が住み、育つ、気軽にアートに触れられる街を行政と民間との協力によって実現していく。」

■南京町商店街振興組合

理事長 生島巖彦氏

「南京町は清国の人が居留地の中に入れず少数の人が居留地の西で商売を始めたのがはじまり。中国人は人に頼ることをしない。わき目もふらずに商売する。成功すると一族を呼び寄せる。現在もその延長。楼門、東屋などの環境整備は市の協力があって成功した。とくに若い三世の人たちが努力してくれた。南京町は下町として庶民的な町、隣の居留地は風格ある町、相乗効果が成功を生む。」

■みなと元町タウン協議会

副会長 宮本弘之氏

「最近の活動では、JR元町駅の改修についての地元協議、元町＝ハーバーランドのアクセス(シェレナ～海岸通りの歩道整備)、4丁目の空き地利用などの提案、また景観形成指定に関しても、検討委員会をつくり協議を重ねている。タウン誌も発行。地元と市と一体になって愛情あふれるまちづくりをしている。」

旧居留地連絡協議会ニュース

(1991年4月～9月)

- 4月 ●総会(オリエンタルホテル)・会報「居留地会議」第7号発行(18日)
 - プロムナード・コンサート(29日、太陽神戸三井銀行前)
 - 大興ビル修復完成、(14日)
 - 5月 ●第5回親睦ゴルフ大会(29日、六甲国際G.C.)
 - プロムナード・コンサート(18日、太陽神戸三井銀行前)
 - 6月 ●第2回旧居留地シンポジウム(1日、オリエンタルホテル)
 - プロムナード・コンサート(7日、太陽神戸三井銀行前)
 - 7月 ●例会(16日、神戸市民生協)
 - 8月 ●納涼懇親会(2日、舞子ピラ)
 - 9月 ●プロムナード・コンサート(28日、太陽神戸三井銀行前)
- は当会の動き ○は街の動きです。

INFORMATION

プロムナード・コンサート

- 10月20日(日)2:30～
桑原康雄主宰グループ「GEN」
マンドリン・アンサンブル
- 11月3日(日)2:30～、4:00～
神戸宮城会 邦楽(琴他)

※いずれも雨天の場合は中止

パネルディスカッション 「神戸における 旧居留地への 期待を探る」

まず武田則明氏（司会・旧居留地連絡協議会顧問）より、第一回のシンポジウム（1986年）での結論は、「居留地がだめになったら、神戸はだめになる。現在では当時になかったようなことが現実化している。コンサート、キャロル、レベルの高い店舗。何か言わないと、新しいことがはじまらない」。との参加者の積極的な発言を求めました。以下は部分再録。

■田中国夫氏・関西学院大学教授
「居留地は演劇的な空間、時間に行ける。①ここにくると時代とともに走っているワと思う。思いたいというキワ。②自分ともうひとつの自分。違う空間にいたというキワ。③ウキウキとやすらぎ。そこへ行ったらここを見ないと帰れない。また思い出の品を買っていくというキワ。居留地にはキワの緊張感を。」

■嶋田勝次氏・神戸大学教授
「景観ができたなら、次は風景。風景ができたなら次は風土。これからは景観をどのように風景にしていくかが課題。やきもの（タイル）

にぬってごまかすのではなく、石のたてものを。」

■溝口勉氏・
日本経済新聞社大阪本社企画室長
「居留地は市の情報センターとの旗印をかかげて行ってほしい。

大阪ベイエリア全体のグランドデザインはできたが、神戸市はすでに先駆的役割をしてきている。神戸市は先輩として情報を提供できる立場にある。神戸はソフト化しているが、業務地区があつてこそ潤う。懸念は銀行の再編成、東京集中。金融は地域関連産業とともにがんばってほしい。」

■作古貞義氏・
オリエンタルホテル代表取締役
「最近明治三年のオリエンタルホテルの広告が見つかった。これは近代のホテル史では一番古い。

昔の西部劇をみると、駅馬車のいきつくところに必ずバー、サルーンがある。昔から旅人をもてなすだけではなく、ホテルは町のヘソ。そんな考えは昔からあつた。ホテルは現在24時間、動いています。24時間情報を発信する機能をもっています。

居留地のサロンとしてお役にたきたい。」

■山本良彦氏・大丸取締役神戸店長
「ハーバーランドや北野、南京町、新開地などいろいろなところにそれぞれ個性があるのがいい。神戸は行政が積極的、密接でダイナミ

ック、これは日本の他都市にはないこと。

ある人に、神戸にはこんなに美人が多かったんですかといわれたけれど、建物が美人にみせている。

大丸は単なるモノ発想でなくコト発想で、地域の魅力づくりに貢献していきたい。」

■シャーリン W ダイヤ氏・
商業空間プロデューサー、コーディネイター
「私は居留地のノスタルジックなところで仕事をしたかった。ノスタルジックな中でのエンターテインメント性をもつべき。

スノビッシュな環境ができていく。問題はすわるところがない。喫茶店、ブラスリー、屋外のカフェテリアスタイルなど、ノスタルジックでエンターテインメントなものがあればいいと思う。」

〔都市景観条例に基づく届出を〕

神戸市では、昭和58年に旧居留地地区を都市景観条例に基づく都市景観形成地域に指定しています。当地区内において建築物などの新築・増築・改築・移転・除却・大規模の模様替・外観を変更することとなる色彩の変更等を行なう場合には必ず届出を行なって下さい。また都市景観に関するご相談についてもお気軽にお越しいただきたいと思ひます。

問合せ先 神戸市役所都市計画局
アーバンデザイン室景観係
TEL 078(331)8181 内線4533

旧居留地連絡協議会会員

- | | | | |
|--|--|---|---|
| ㈱朝日ビルディング神戸支店
朝日生命保険相互会社神戸支社
㈱ 珍 々 堂★
千代田火災海上保険
中央興業 ㈱
ダイタン ㈱
㈱第一ビルディング神戸事業所
第 一 楼 社
㈱ 大 協 殖 産 ㈱
㈱ 大 丸 神 戸 店
大日産業 ㈱ 神戸支店
大 神 倉 庫 ㈱
電通神戸ビル管理事務所
同和火災海上保険 ㈱ 神戸支店
平和不動産 ㈱ 神戸出張所
㈱兵庫クレジットサービス
㈱ 兵 庫 銀 行 本 店
㈱ 兵 庫 県 農 業 会 館 協 会
兵庫信用保証協 ㈱
入江ビルディング ㈱
関電産業 ㈱ 神戸営業所
兼 松 ㈱ | 関西電力 ㈱ 三宮営業所
関西殖産 ㈱
㈱ 華 聯 有 限 公 司
川崎汽船 ㈱
㈱ ケ ー シ ー エ ス
㈱ K D D 神 戸 支 店
㈱ 建 隆 エ ス テ ー ト
㈱ 神 戸 貿 易 協 同 組 合
㈱ 神 戸 銀 行 協 会
㈱ 神 戸 生 糸 取 引 所
神戸市民生活協同組合
神戸信用金庫本店
神戸市都市整備公社
神戸ミノルタ事務機 ㈱★
公共建物 ㈱ 神戸事務所
㈱ 近 藤 商 店
㈱ 鴻 池 組 神 戸 支 店
㈱ 興 和 不 動 産 神 戸 支 店
㈱ 松 岡 不 動 産 業 ㈱
㈱ 松 下 電 器 産 業 ㈱
明 海 興 産 ㈱ | 南 ㈱
㈱ 三 菱 銀 行 神 戸 支 店
三 菱 信 託 銀 行 ㈱ 神 戸 支 店
三 井 火 災 保 險 ㈱ 神 戸 支 店
㈱ 日 本 長 期 信 用 銀 行 神 戸 支 店
日 本 銀 行 神 戸 支 店
日 本 毛 織 ㈱
㈱ 西 日 本 銀 行 神 戸 支 店
農 林 中 央 金 庫 神 戸 事 務 所
㈱ ノ ー リ ツ★
㈱ ノ ー ザ
N T T 神 戸 ネットワーク・センター
N T T 神 戸 料 金 セ ン タ ー
N T T 神 戸 支 店
㈱ 大 林 組 神 戸 支 店
㈱ オ ギ サ カ ㈱
㈱ オ リ エ ン タ ル ホ テ ル
㈱ ポ ー ル ・ ス チ ュ ア ー ト ・ ジ ャ パ ン
㈱ 菱 光 証 券 ㈱
三 共 生 興 不 動 産 ㈱
神 神 栄 石 野 証 券 ㈱
神 港 ビ ル デ ィ ン グ ㈱
㈱ 塩 田 商 会
商 工 組 合 中 央 金 庫 神 戸 支 店 | 商 船 三 井 興 産 ㈱ 神 戸 事 務 所
住 友 生 命 保 險 相 互 会 社 神 戸 西 支 社
㈱ 鈴 江 商 会★
㈱ 大 清 社
泰 神 殖 産 業 ㈱
泰 和 実 業 ㈱
㈱ 太 陽 神 戸 三 井 銀 行 神 戸 本 部
㈱ 太 陽 神 戸 三 井 カ ー ド サ ー ビ ス
㈱ 高 砂 商 行
㈱ 東 海 銀 行 神 戸 支 店
東 京 海 上 火 災 保 險 ㈱ 神 戸 支 店
東 神 ビ ル デ ィ ン グ ㈱
㈱ 山 本 ビ ル
安 田 信 託 銀 行 ㈱ 神 戸 支 店 |
|--|--|---|---|
- (1991年9月現在、86社)
●名簿はABC順。★印は、新会員。

新 会 員 募 集

●入会のお問合わせ、お申込みは
神戸市中央区京町79 南 ㈱
TEL.078(331)3345

旧居留地連絡協議会
神戸市中央区江戸町91 ㈱神戸銀行協会内
TEL.078(331)2761

A HISTORY OF THE FOREIGN SETTLEMENT ⑦



日本で最も歴史のあるホテル、 神戸オリエンタルホテル。

明治3年8月3日の「HIOGO NEWS」に、神戸オリエンタルホテルの広告が、掲載されていたのが見つかりました。これまで、日本で最も古いと言われていたホテル「富士屋ホテル」(箱根)の創業が、明治8年。オリエンタルホテルが、日本で最古の伝統を持つホテルである事が、この広告の発見により正式に確認されたのです。

当時の経営者、つまり創業者は、ドイツ人のフェリエス氏。場所は居留地79番地でした。

少し前までは、明治15年にルイ・ビゴ氏により創業されたと言われていましたが、ビゴ氏は6代目の支配人にあたる事になります。彼は、優秀な経営者としてだけでなく、素晴らしいシェフとしても有名でした。『ジャングル・ブック』などの作品で有名な、イギリスの小説家キップリングも、その作品『Sea to Sea』の中で、神戸オリエンタルホテルの料理は、世界の一流ホテルのものより優れていると絶賛しています。

その後、ビゴ氏が帰国することもない、グルーム氏が社長に就任しました。明治26年には、ハンセル氏の手による別館を増築し、名実共に神戸一のホテルになりました。そして、明治から大正へと時代は移り、大正5年に初の邦人経営者として浅野氏が就任した後も、充実した設備、美味しい料理、優れたサービスといった伝統は、連続と受け継がれています。

ちなみに、今回見つかった日本最古のホテルの広告は、ホテル内のビリヤードとボーリング場のPR。明治3年当時から、神戸の洒落者たちの社交場は、どうやら居留地だったようです。

(写真は、神戸市立博物館蔵)

旧居留地、最大のイベント。

“第九交響曲”

■12月22日(日)

■4:00PM~5:30PM

小泉ひろし指揮、大阪シンフォニカの演奏のもとに約80人のコーラス。演奏者とコーラスをあわせて、総勢150余人という、旧居留地連絡協議会としては最大のイベントになります。会場も、太陽神戸三井銀行の協力により今回は1階の銀行内ロビーです。

と一緒に、合唱しませんか。

参加者募集 お問い合わせ・お申し込みは、TEL(332)1472 太陽神戸三井銀行 広報部 松倉まで

明治・大正・昭和・平成と120余年 神戸開港以来、神戸と共にオリエンタルホテルは育ちました。日頃のご愛顧に感謝申し上げます。

【神戸港開港125周年記念サンクスフェア】開催中/

店内各レストランにてお気軽にご利用下さいませ。

「エリートセブン」92年3月31日迄

☆オールドファッションカレー ¥800

「カフェ・ドラフェ」92年3月31日迄

☆アップルパイアラモード ¥600

「セラーバー ラ・ランド」11月30日迄

☆ボトルフェア ¥4,000

「ル・ファール」11月30日迄

☆一世紀の食卓 ¥10,000

「桃花春」125組様限定

☆記念メニュー 1組3名様以上

お一人様 ¥4,000

KOBE
ORIENTAL
HOTEL



オリエンタルホテル

〒650 神戸市中央区京町25番地

TEL.078・331・8111

NTT

神戸支店



やさしさ
声にして

19
19日は「19」の日。